



慶應大学大学院に「低炭素社会デザインコース」誕生 —OECC ともコラボで低炭素社会のリーダーを育成—

慶應義塾大学環境情報学部 教授 Manami Fujikura
藤倉 まなみ

慶應義塾大学は 2009 年 4 月から大学院修士課程に、低炭素化社会に貢献する高度な職業人（環境人材リーダー）を養成する「低炭素社会デザインコース」を開設します。これは環境省の「アジア環境人材育成イニシアティブ」に基づく大学教育プログラム開発事業の一環として、その助成を受けて実施するものです。

コースの目的・概要・運営

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科（以下「政メ」）は、湘南藤沢キャンパス（SFC）に設置されている大学院です。低炭素社会デザインコースは、政メの修士課程に設けられた「プロフェッショナル育成コース」の 1 つです。地球温暖化を防止し、持続可能な社会に移行する上で、極めて重要な課題である低炭素社会の構築に向けて、事業の企画・開発や炭素削減クレジットの市場流通拡大などに応えうる専門知識や実践的な問題発見・解決能力を有する人材の養成を目的としています。

コースで提供する教育内容は図に示すとおりです。本誌で特集されているカーボンオフセットも対象となります。必修科目は講義 3 科目、演習 2 科目、フィールドワーク 1 科目、インターンシップ 1 科目及び修士論文等で、これらを履修して合計 30 単位以上を修得し、修士課程を修了した学生には、サティフィケート（コース修了証）が授与されます。

コースの企画運営に当たっては、慶應義塾大学政策・メディア研究科の教授陣の他、表に示す、我が国の CDM 事業開発や炭素クレジット市場をリードする民間企業、NPO や研究機関、自治体の協力を得ています。その一つとして OECC にもご参加をいただいております。西宮康二主任研究員にはコース開発実証委員会委員として、また加藤真主任研究員には慶應義塾大学特別研究講師として

表 低炭素社会デザインコース企画運営の連携協力団体

- 三菱UFJ証券株式会社
- 有限会社クライメート・エキスパート
- 株式会社PEARカーボンオフセット・イニシアティブ
- 財団法人地球環境戦略研究機関
- 社団法人海外環境協力センター
- 有限責任中間法人イクレイ日本
- 神奈川県
- 藤沢市

参画いただき、4 月からは実際に講義・演習も行っています。

アジアへの展開

政メは、韓国の延世大学や中国の復旦大学等とダブルディグリー協定を結んでいるほか、多くの留学生を受け入れており、既入学者からも授業を履修したいという声が多くあがっています。今後は、協定の適用拡大やインターネットでの履修を可能にする e 科目化などを通じて、アジアの大学との連携を強化していきたいと考えています。

コースへの入学・社会人学生の履修

本コースに入学するためには、まず政メの修士課程を受験し、本コースの履修希望を申請していただきます。4 月入学（10 月出願〆切）と 9 月入学（5 月出願〆切）があり、現在、2009 年 9 月入学生募集中です。

（問い合わせ先：lowcarbon@sfc.keio.ac.jp）

社会人学生には、最初の 1 年目は休職・通学を推奨していますが、2 年目は休職することなく修士論文の指導（何度か大学にきていただく）のみでの修了も可能です。また、修士論文に代わり、実プロジェクト開発等の報告書による非修論オプションも選択できます。

関係者の皆様のご支援をお願いするとともに、社会人学生としてのご入学をお待ちしています。

図 低炭素社会デザインコースの概要 <http://lcs.sfc.keio.ac.jp/>

